

未来へつながる確かな安心をお届けします

肥後保險企画

2024年4月140号(毎月1回発行)

発行：肥後保険企画 株式会社 監修：渡辺 時貞

〒860-0843 熊本県中央区草葉町4-20 AIG熊本ビル1F

Tel 096-342-6233 Fax 096-342-6390 URL <https://www.higohoken.co.jp>



日々の営業活動の中で、ご縁をいただいた方々にお届けしています。

お忙しい毎日の“一息”としてお読みいただけましたら幸いです。

井田浩聰 33才です。前職は電気設備工事の会社に勤めていました。営業経験はありませんが、やる気だけは誰にも負けないつもりです。これから宜しくお願い申し上げます。



井田浩聰です。

◆ ただ、これでは部下の自分自身で考える力は育ちません。かといって、高圧的な指導をしても「すみません、分かりました」とそのまま場しのぎで終わってしまいます。

◆ 経営者だけではなく、社員全員が当事者意識を持つためには、自分自身で気づかせることが大事で、これが自律的に考え、行動する人材を育てることだと思います。

3月から営業社員が入社しました。

ご覧いただきありがとうございます。

◆お客様が満足いく仕事、当社の経営理念でいえば、「未来へつながる確かな安心をお届けする」ということになりますが、このためには繰り返しの社内教育が必要です。

◆お客様が満足する仕事をするには「一を聞いて十を知る」考え方を求められます。自分で考える力を育てる——。部下にどうて「こんな風にやりなさい」と細かな指示を出してくれる上司の下で働く部下は言わされたことだけやつていればいいのですから、ある意味で楽です。

二〇九



生命保険お役立ち一口情報

「私たちは、1か月の収入に合わせて生活費を使い、残ったお金を貯蓄しています。」

ところが、世帯主が死亡すると、収入が減ってしまうのでこのバランスが崩れてしまいます。そこを補うのが生命保険です。まずは、自分や家族がどんな場面でお金に困るのかを思い描くことが、保険選びの第一歩となります。生命保険を選ぶためのポイントは3つ。

- ① どんな状況のときに自分や家族が困るのか
最も基本的な考え方で保険選びの要です。
 - ② どの程度の保障や備えがあればいいのか
一般的に「必要保障額」といいます。
 - ③ 一定期間の保障か、一生涯の保障なのか
保険期間で保険料は大きく変わります。

「どんなとき」「いくら」「いつまで」お金が必要なのかを考えてみましょう。

**手書きなので
枚数に限りはあります
が、絵はがきをお届けしています。**



これ、ユニコーンです。幸せと成功のシンボルとされ、夢に出てくるとんでもない最上級の幸運が訪れるとか。春色の優しさと暖かさをプラスしたくて今月の縁起はがきは夢色のユニコーンを描いてみました。

なんと、旧約聖書の中で聖母マリア様に慣れ親しむという一説があるそうです。ハリー・ポッターの中にもユニコーンのたてがみを材料に寿命を延ばす薬を作っているシーンがありました。リアルか?ファンタジーなのか?

地震保険の付帯率70%弱 一定の備えで生活費に充当



今年の元旦に発生した能登半島地震は改めて巨大災害の脅威を知らしめました。

地震保険は地震による倒壊、津波、火災などによる自宅や家財の被害を補償します。火災保険では地震を原因とする損害は補償されません。地震保険の単独加入はできず、必ず火災保険に上乗せする形で加入する商品です。

保険金額は火災保険の30~50%の範囲で契約し、建物は5千万円などの上限があります。実際に支払われる保険金は「全損」「大半損」「小半損」「一部損」と損害状況に応じて4段階に分けられています。



肥後保険登山倶楽部

こんにちは、登山倶楽部の萩尾です。先日雪山シーズンがもう最後と思い九州本土最高峰のくじゅう中岳への出を鑑賞しに登ってきました。

真っ暗の中ヘッドライトを頼りにAM3:30に駐車場を出発、到着したのはAM5:00で気温は-12℃。山頂で1時間ほど日の出を待ちます。極寒でそのままだと凍傷になりそうです。

しかし徐々に明るくなっていく空、星が段々と見えなくなっている黒から青そしてオレンジへのグラデーションがとても美しく寒さを忘れさせてくれます。そして太陽が出た瞬間はダイヤモンドのようにキラッと輝きます。周りが見えるようになると眼下には樹氷の畠が広



くじゅう中岳山頂

がり最高の瞬間です。もう寒くはありません。最後にモロゲンロート(朝陽で山肌が燃えているように見えること)を満喫して下山しました。

「働き手不足 1100万人」の衝撃



事業展開の参考になる一冊です。

人手が足りず、身の回りのさまざまなサービスが機能不全に陥っていることを示すデータが、リクルートワーク研究所から発表されました。

2040年に日本では、「1100万人の働き手が不足する」という衝撃のシミュレーション。政府も女性やシニア層などを中心に労働市場への参加を促す試みを始めていますが、急速な人口減少社会では、そうした政策だけでは追いつかないということらしいのです。

これらは公的機関が公表している数字を基に算出された信ぴょう性のある未来予測で、確実に訪れる厳しい現実をどう打開していくのかを本書は示しています。

人手が足りず、身の回りのさまざまなサービスが機能不全に陥っていることを示すデータが、リクルートワーク研究所から発表されました。

乱読コーナー

健康経営やってます



2月26日、令和5年度熊本県健康づくり県民会議表彰が熊本テルサで行われ、「健康経営、検診・がん検診部門」にて弊社が表彰いただきました。

肥後保険企画の健康づくり取組み事例の発表があり、「小規模事業所であっても、経営者自らが健康経営を戦略的に取り入れ、心身共に健康で生き生きと長く安心して働く職場作りを目標に、お金をかけずできることを積み重ねていくことでたくさんのメリットがある」という内容を中心に社長が約12分間スピーチしました。当日まで発表内容や投影資料の準備を皆で一生懸命行い、チーム力を強く感じました。



知事、くまモンと記念撮影

この貴重な経験に加え、今月は健康経営優良法人2024(中小規模法人部門プライト500)に認定され、健康経営の推進、普及、啓発に努めていきたいです。